

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道47号 新庄古口道路 <small>しんじょうふるくち</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：新庄市大字本合海 <small>しんじょうしおおあさもとあいかい</small> 至：最上郡戸沢村大字古口 <small>もがみくんとざわむらおおあさふるくち</small>		延長	10.6 km		
事業概要 新庄古口道路（自動車専用道路）は、新庄酒田道路の一部を構成する延長約 10.6kmの一般国道47号のバイパスであり、山形県内陸部と庄内地方との連結を強化し、山形県内の地域間交流の促進に大きく寄与するものである。						
H13年度事業化		都市計画区域外	用地未着手	工事未着手		
全体事業費	430億円		事業進捗率	0.7%	供用済延長	- km
計画交通量	19,600台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年 平成17年
	(事業全体) 1.5 (残事業) -	(残事業)/(事業全体) - / 358億円 事業費： - / 320億円 維持管理費： - / 38億円		(残事業)/(事業全体) - / 553億円 走行時間短縮便益： - / 446億円 走行費用減少便益： - / 83億円 交通事故減少便益： - / 24億円		
感度分析の結果 【事業全体】 事業全体について下記3種類の感度分析を実施 交通量変動： B/C=1.7(交通量 +10%) B/C=1.4(交通量 -10%) 事業費変動： B/C=1.4(事業費 +10%) B/C=1.7(事業費 -10%) 事業期間変動： B/C=1.3(事業期間+20%) B/C=1.7(事業期間-20%)						
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路としての位置付け） ・物流効率化の支援（重要港湾酒田港へのアクセス向上） 他13項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 新庄古口道路は、山形県内陸部と庄内地方との地域間交流を促進する地域高規格道路ネットワークを形成するとともに、幹線道路の機能確保が期待されており、新庄市をはじめとする関係22市町村の首長で構成される新庄酒田地域高規格道路建設促進期成同盟会より、早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費： 3億円（進捗率 0.7%） うち用地費： 0億円（進捗率 0.0%）						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成17年度は地質調査及び測量を行い、平成18年度は予備設計及び用地調査、平成19年度から用地取得を開始し、L=10.6kmについて、平成20年代の供用を目標に事業推進を図る。						
施設の構造や工法の変更等 線形工夫によるトンネル延長の削減及び客土削減						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図 						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。